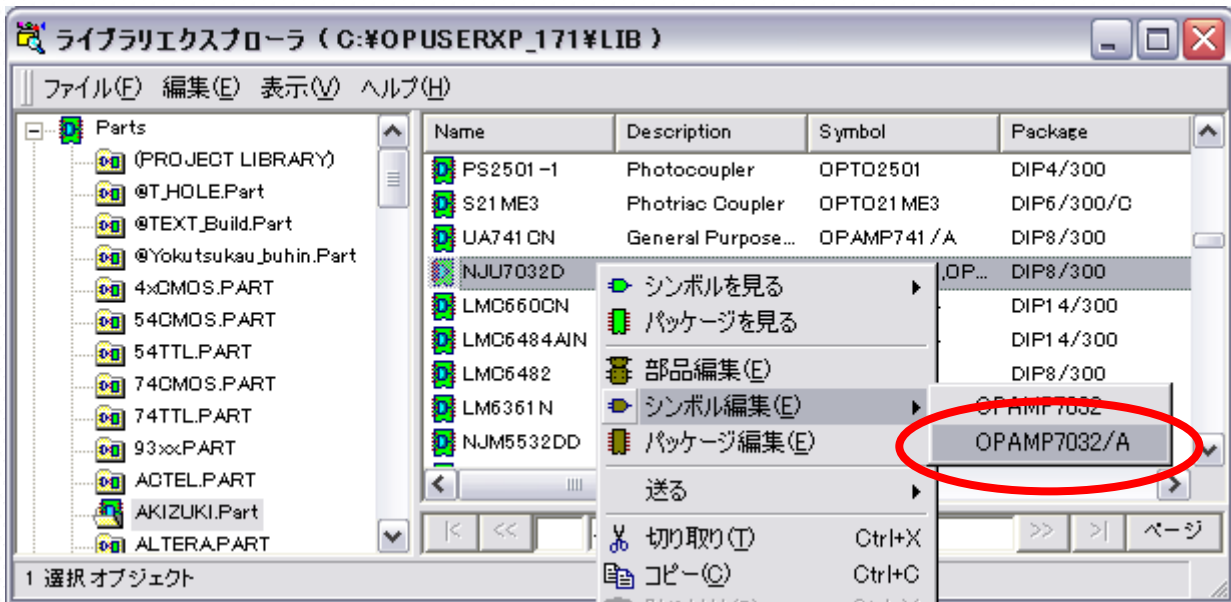


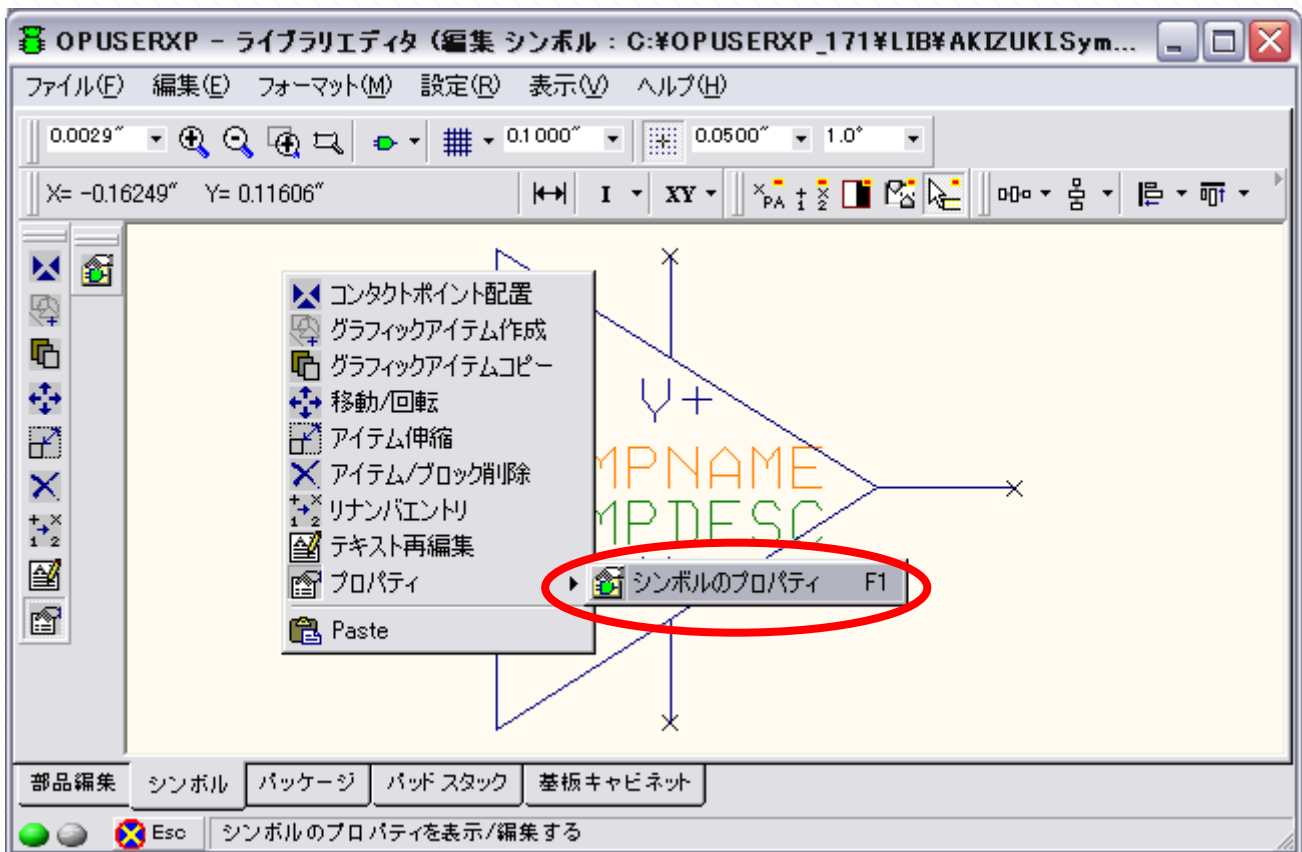
I. シミュレーションコードの割り当て

シンボルを作成、もしくはシミュレーションコードが割り当てられていないシンボルに、シミュレーションコードを割り当てます。

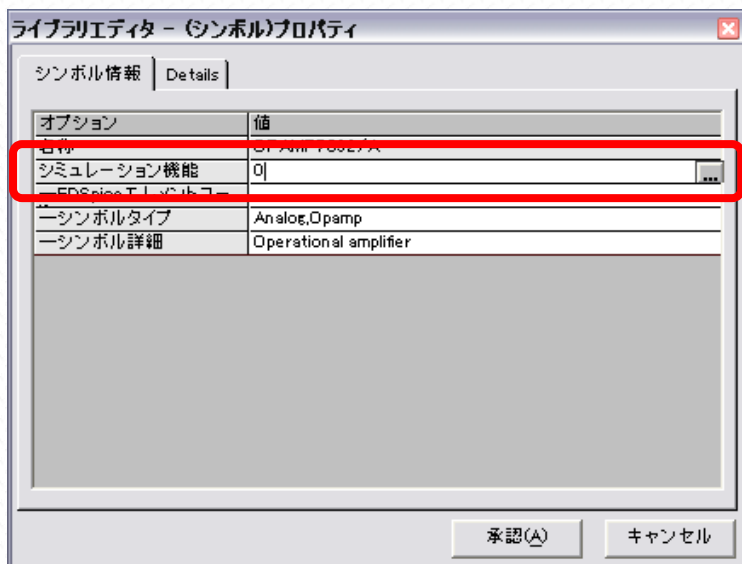
既に回路、もしくは基板上に配置した部品を変更するには“プロジェクトエクスプローラ／部品編集”から、まだ配置していない部品に関しては、元のライブラリから編集するシンボルを選択します。



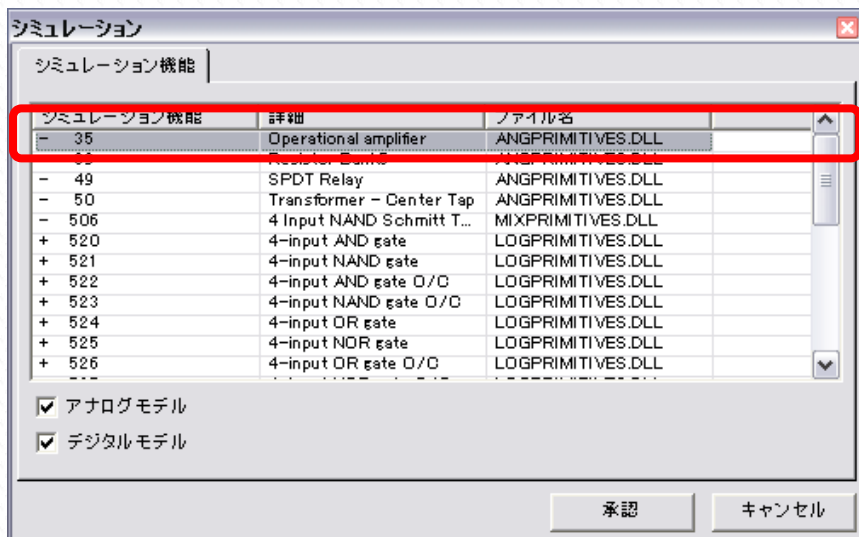
エディタが起動したら“プロパティ／シンボルのプロパティ”を選択



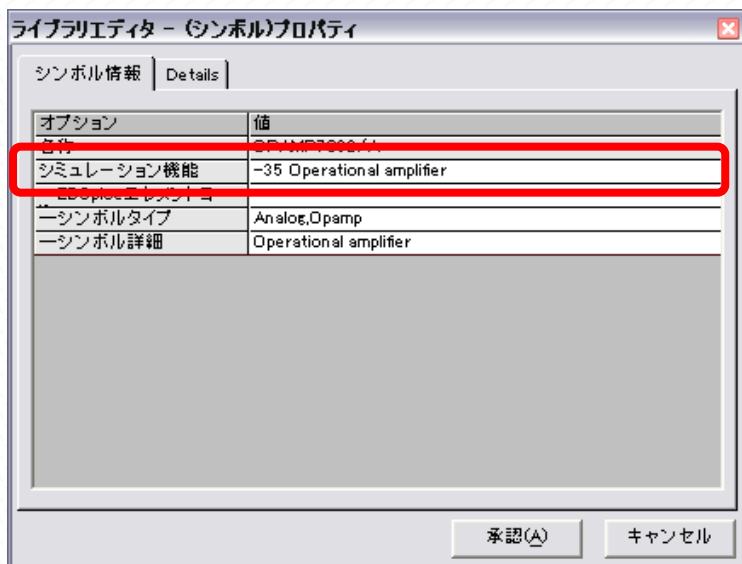
シミュレーション機能の箇所をクリック、表示されるボタンをクリック



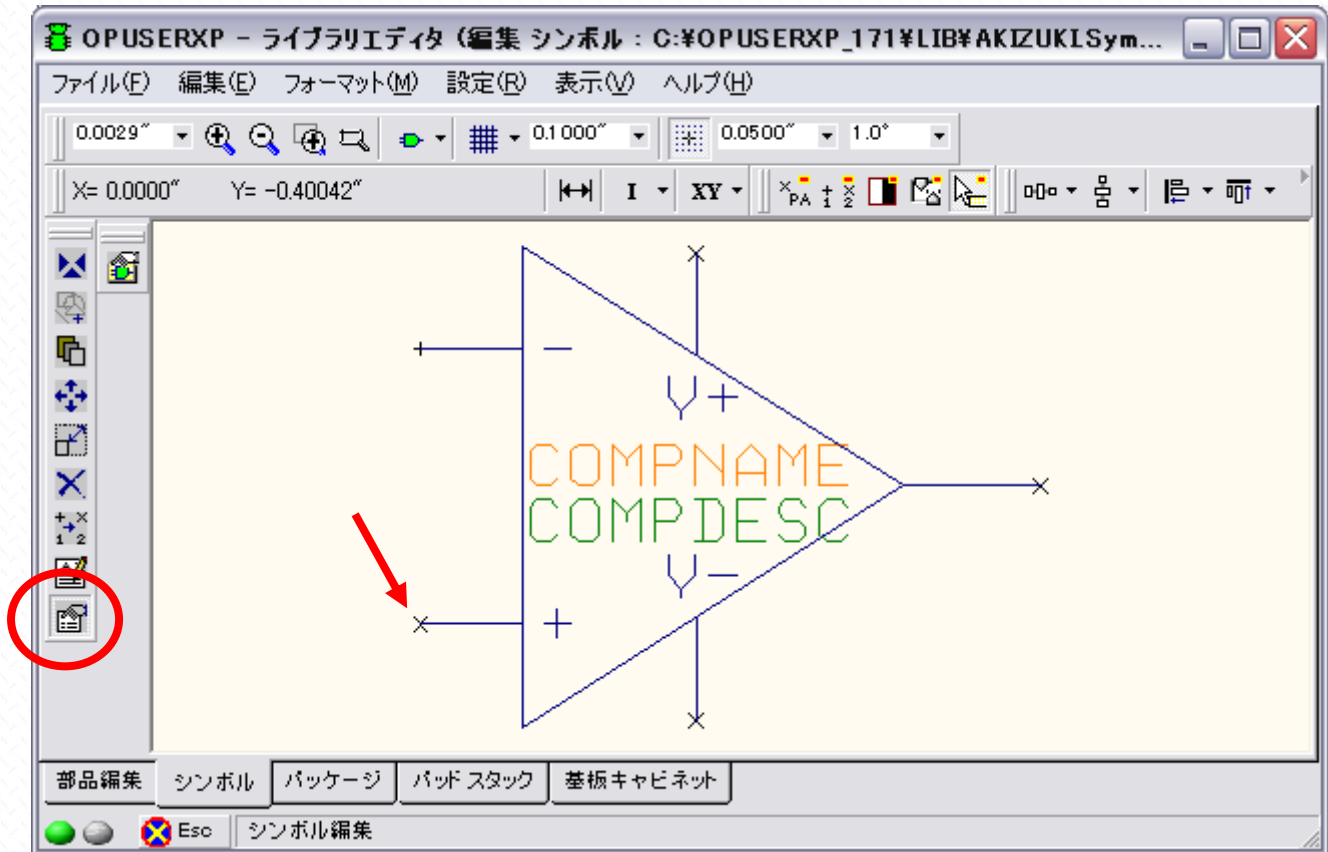
シミュレーションコードを選択して“承認”をクリックします。(ピン数の異なる回路記号、SIM コードは割り当てる事が出来ません)



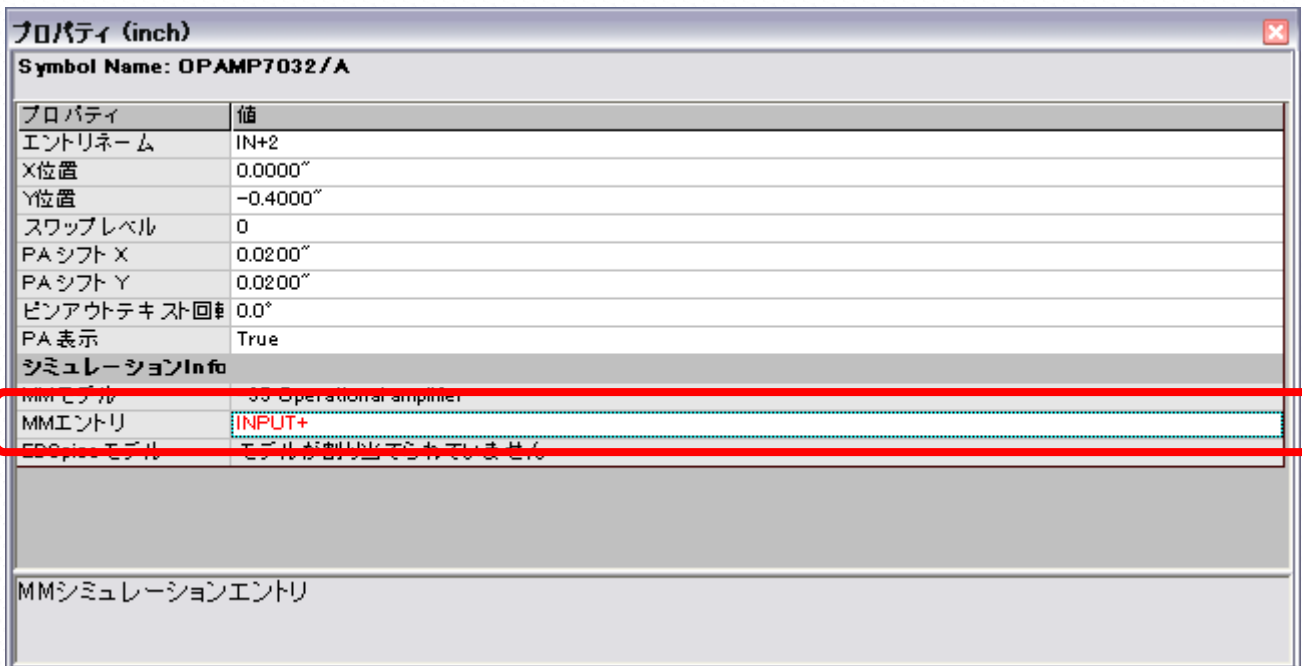
シミュレーションコードが選択されている事を確認し、“承認”をクリックします



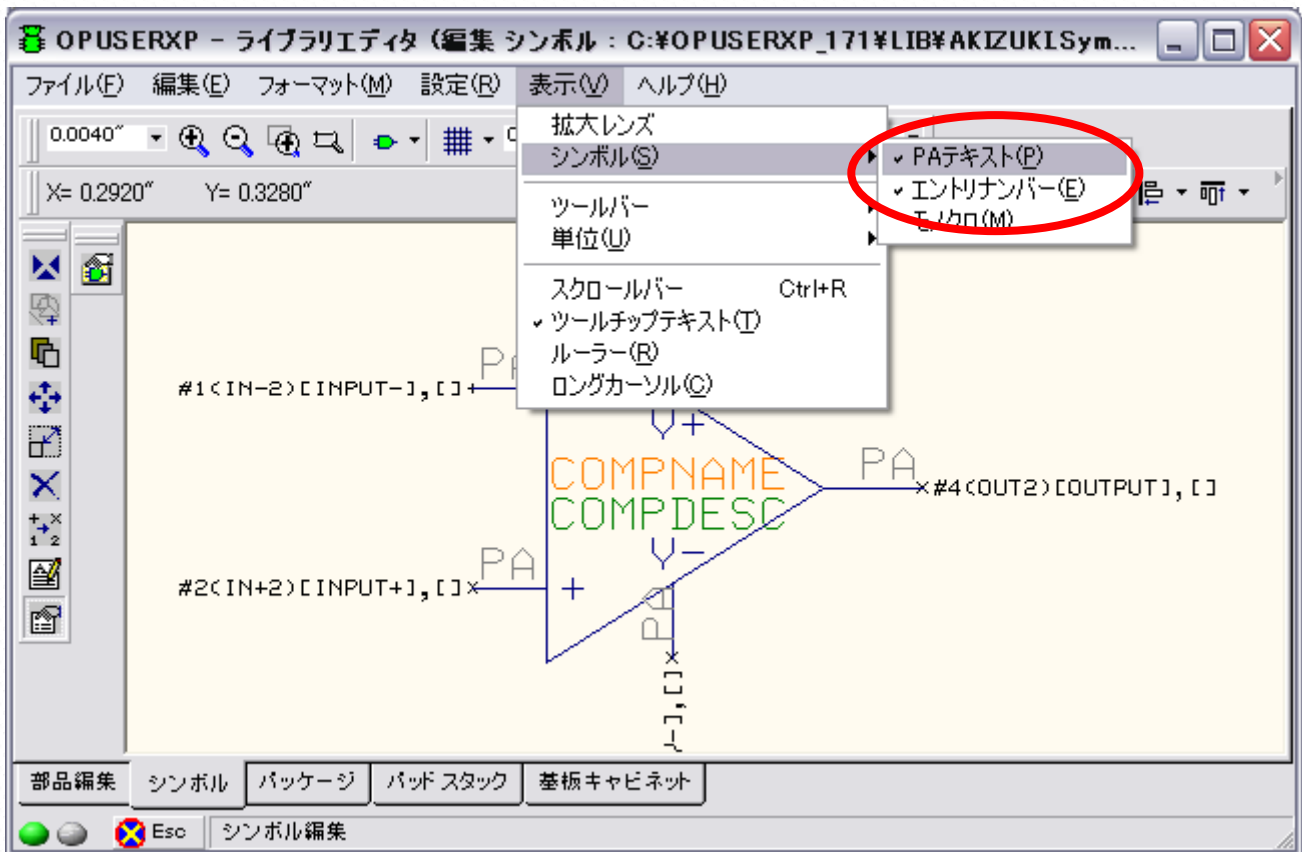
元の画面に戻ると、“プロパティ”のみが選択された状態にあります。そのままの状態、回路記号のピンの真上をクリックします。



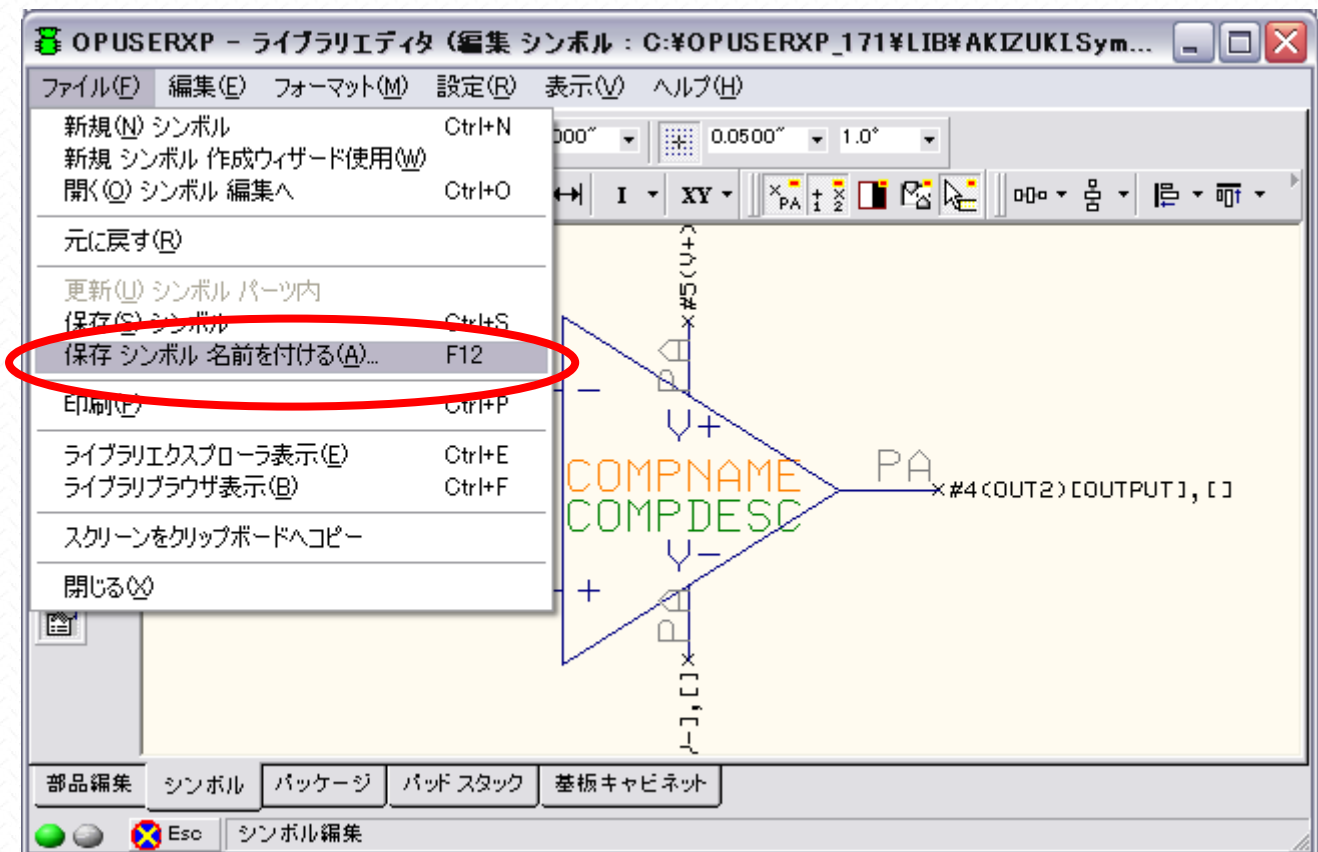
表示されるピンのプロパティにて、MMエン트리（ミックスモード）を選択します。“ESC”ボタンで作業を終了するか、続けて次のピンをクリックし、全てのピンにエントリを割り当てます。



その際“表示／シンボル”から各項目にチェックを入れておくと割り当てが確認できます



最後に保存シンボル名前を付けるで保存を行います（インストール時に作成されたライブラリには上書きできません）



ライブラリ名称を確認して“検索トップへ登録”にチェックを入れ“保存”をクリックします。(ライブラリ名称は半角英数を使用してください) 保存して作業終了となります。

